



やま した はじめ  
**山下一さん**  
宝塚市立中山桜台小学校長

大阪府出身。昭和57(1982)年に学校教育学部1期生として、生活・健康系コースに入学。卒業後、宝塚市の公立小学校の教員に。平成25(2013)年度から現職。



なか むらきょう こ  
**中村恭子さん**  
兵庫教育大学附属小学校教諭

愛媛県出身。平成14(2002)年、愛媛県の公立小学校の教員に。22(2010)年、人事交流により兵庫教育大学附属小学校に赴任。24(2012)年から2年間、大学院修士課程文化表現系教育コースで学ぶ。今年度は附属小学校で音楽教員を務めている。

→校長に就いてからデスクワークが増えました



## 教員としての武器を見つけ 学校現場に活気を

**学** 校現場には今、若い教員が続々と入ってきており、彼らの多くが学級経営や授業方法に悩んでいます。先輩教員として次の2点をアドバイスさせていただきたいです。

まず、経験豊富なベテラン教員をまねるのではなく、自分の武器を前面に出して、学級経営や授業を研究してください。子どもの流行が分かるとかイラストや音楽が得意といった教育に生かせる武器を見つけるのです。

次に、自分が研究したい教科を決め、参考資料を徹底的に読んだり、研究会に参加したり、先輩に指導を仰いだりして、とことん追究してください。3年後には「○○先生のあの教科の指導は素晴らしい」と言われる域に到達してほしいと思います。

教員を目指す皆さんは自分の得意分野を見つけ、それを武器に学校現場を活気づけてください。そして、子どもたちが夢を持てる楽しい学校をつくってください。

→児童の活発な声が飛び交う授業を目指しています



## 学びをすぐに実践できるのは 兵教大の大学院ならではの

**愛** 媛県のだかな田舎の小学校に勤めていたころは、少人数のクラスで「どうすれば子どもたちにもっと分かりやすい授業ができるだろうか」と考えていました。しかし、附属小学校に赴任してから、私の授業観は「どうすれば子どもたちももっと学ぼうとする授業になるだろうか」に変わりました。そして、もう一度勉強がしたいという意欲が湧き、大学院へ進みました。

大学院と小学校を行き来した2年間は充実した日々でした。大学院で学んだことをすぐに学校現場で試せるのは現職教員の強み。子どもたちの素直な反応は、大学院の学びを深めていく上でとても大切な教材となりました。

在学生の皆さん、教員の仕事の素晴らしさはたくさん出会いに恵まれていることです。すてきな出会いをくれた兵教大に感謝するとともに、これから出会うまだ見ぬ子どもたちと新たな学びにワクワク、ドキドキしています。

### ▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

応募方法など詳細はHyokyo-netをご覧ください

#### 大学院同窓会会員と大学教員との共同研究の申請

大学院修了生と大学教員とが共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。平成26(2014)年度は11件を採択しました。

◎申請締め切り 4月30日㊦まで

#### 教育実践研究活動等に係る表彰者の推薦

大学院同窓会では教育実践研究に顕著な成果を挙げた修了生を表彰しています。今年度も受賞にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年8月の同窓会宮城大会(仙台市)で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。

◎推薦締め切り 3月31日㊦まで